

---

# 闇の帝王もどきな俺

カナリヤ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

闇の帝王もどきな俺

### 【Nコード】

N6117T

### 【作者名】

カナリヤ

### 【あらすじ】

所詮どんな力を持ってても、持ってた奴には成れなくて。

気持ち悪い……

(前書き)

ニコ動でヴォルデモートのAA作ったWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWWを  
見てなぜか書きたくなったので書きました。



街に行ったらバケモノ扱いなう。

うん、悲しいかな。こんな見た目では人間と思われないよな。蛇人間と言われた方がしっくりくるもんな。

「我々正義の魔法使いが、貴様ののようなバケモノを逃がす訳がなからう！」

なにあれ。自称正義の魔法使い？人を見た目だけで判断しやがって……

許さん！！

「エクスペリアームス」

しかし、武装解除しか使わない俺はへたれだ……  
迷惑料として貴様等の杖は頂くがな！！

小悪党みたいだな、闇の帝王の体なのに……  
なんかさつきから足を進めるたびに屈辱感が半端無い  
体が逃げずに戦えて、言ってるみたいだな……勝てるだろうけど。  
人を簡単に傷つけるなんて、できないんだよ。

だけどそんな思いなんて無駄だっけ言うように

「死ねえ！！」

殺される。そう感じたら

「アバダ・ケダブラ」

咄嗟に口に出した呪文は、死の呪文で……

緑の閃光は吸い込まれるように、呪文を唱えていた奴の胸に命中した。

糸の切れたマリオネットのように、いきなり崩れ落ちる。

殺しちゃったよ……傷つけないとか考えていたくせに、あさり殺したよ。自分の手で。

だというのに。人としての大罪を犯したのに。込み上げてくる感情は……優越感

自分は崩れ落ちた奴とは違う。そんな優越感が心を満たし始める。気持ち悪い……

体が闇の帝王になっただけなのに、もう　　はもう居なくて、俺は闇の帝王に近い存在になってしまったようだ。

「俺様が大人しく去ってやろうというのに……貴様らが追いかけてくるから、つい殺してしまっただではないか……」

残っているのは心だけ、だったら心も闇の帝王になれば楽になれる。  
　　が消えて残るはヴォルデモートのみ。

「全員死んでも、かまわんだろ？」

未知への恐怖が追いかけて来た奴らに、広がっているのが手に取るように解る。

開心術の一片か。基本的な能力か。どちらかは解らない。そんな事はどうでもいい……

ただ……

「なに、痛みは無い。楽に逝くだけだ」

こいつらには、俺がヴォルデモートになる肥やしになってもらう。

「アバダ・ケダブラ」

呪文の数だけ死体がころがることになった。

気持ち悪い……………

十数人殺したが、結局俺は俺で、闇の帝王たるヴォルデモートには成れないらしい。

ああ、楽になれると思ったけど。

やっぱり気持ち悪い……………

S i d e o u t

(後書き)

続きは書かないつもり

2作連載はたぶん無理だと思うし、突発的な衝動で書いたんで次を  
考えてない。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6117t/>

---

闇の帝王もどきな俺

2011年10月9日02時59分発行